

科目名 (英)	エアラインメイク Airline makeup	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	織田 純子
学科・コース	エアライングランドスタッフコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日4時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>顔の特徴や個性に似合うスタイリング技術の習得や、TPOに合わせたスタイリングができるように学びます。そして業界に必要なメイクの基礎知識を学びます。</p> <p>※実務経験:フリーのヘアメイクアーティストとして(20年間)、サロン、舞台、ショー、ブライダルの現場などでヘアメイクを行いながら、専門学校で講師としても活動。また、JMA認定講師としても活動。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>業界で必要とされるセルフスタイリング(ヘアメイク)テクニックを身につける。TPOに合わせて身だしなみを整えることができるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	科目目標を理解し、ヘアメイクの必要性を考えることができるようになる。
2回目	自分の顔の分析をし、個性を知ることができるようになる。
3回目	自分に合ったスキンケア法、ベースメイクの作り方を知り、実践できるようになる。
4回目	スキンケア、ベースメイクに加えて、自分に合ったアイブロウの描き方を知り、実践できるようになる。
5回目	前回の内容に加えて、自分に合ったアイメイク法を知り、実践できるようになる。
6回目	リップ、チークののせ方、骨格補正の方法を知り、実践できるようになる。
7回目	中間テスト 自分に合ったフルメイクを施すことができるようになる。
8回目	セルフスタイリング① 自分の個性を分析し、スタイリングに生かすことができるようになる。
9回目	セルフスタイリング② 自分の個性を分析し、スタイリングに生かすことができるようになる。
10回目	TPOに合わせたヘアメイク① TPOに合わせてメイクを仕上げ、合わせたヘアスタイリングができるようになる。
11回目	TPOに合わせたヘアメイク② TPOに合わせてメイクを仕上げ、合わせたヘアスタイリングができるようになる。
12回目	TPOに合わせたヘアメイク③ TPOに合わせてメイクを仕上げ、合わせたヘアスタイリングができるようになる。
13回目	業界で求められるセルフスタイリングを習得し、仕上げることができるようになる。(定期テスト練習)
14回目	定期テスト 業界で求められるセルフスタイリングを仕上げるようになる。
15回目	振り返り、まとめ、苦手部分を克服し、スキルアップを目指す。
準備学習 時間外学習	前授業で学習した内容を忘れないように、次の授業に臨んでください。興味と意欲を持って取り組んでほしいと思います。
評価方法	中間テスト50点・定期テスト50点(合計100点満点) 仕上がりの美しさ、似合わせのテクニック、取り組み方など総合的に評価します。
受講生への メッセージ	自分をセルフスタイリングできるようになるために、まずは自分の顔や個性をしっかりと見つめてみましょう。新しい発見があることを期待しています。楽しんで取り組んでもらえると嬉しいです。
【使用教科書・教材・参考書】	
初回授業で伝えます。筆記用具を持参してください。	

科目名 (英)	キャリアプログラム career program	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	新倉 友梨恵 / 高増 千秋
学科・コース	ホスピタリティビジネス科/ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日2時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          クラスメイト、教職員との交流を図りながら学生生活に必要な知識や行動について学んでいきます。</p> <p>※実務経験:          新倉: ANA福岡空港のグランドスタッフとして5年間勤務。国内国際線の出発到着業務全般・ロードコントロール業務・新入社員研修・外資系エアラインのマニュアルを翻訳し、スタッフへの教育を行うインストラクターとしても従事。          高増: 大分県ブラッサム大分(JR九州ホテルズアンドリゾーツ)に4年間勤務。フロントや電話での接客対応、ロコミや団体予約等の担当を経験。</p>							
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人が学校のルールや規律を知り理解でき基本的な挨拶や返事、生活習慣を整えることができる。</li> <li>クラス構築をはじめ、全員がお互いを理解して受け入れることができるようになる。</li> </ul>							
授業計画・内容							
1回目	4/16 学生としての心構え、マナー(学校・クラスルールの再確認、シラバス説明、Teamsの使い方) / 健康診断案内						
2回目	4/23 学生としての心構え、マナー(アルバイト、公欠届、GWに向けて) / 生活安全教育① / 個別面談スケジュール(各コースごと)						
3回目	5/7 GWの振り返り / 生活習慣改善教育② / 面談スケジュール確認						
4回目	5/14 生活習慣改善教育③ / 学校イベント・企業訪問に向けての準備・心構え						
5回目	5/21 生活習慣改善教育④ / 学校イベント・企業訪問に向けての準備・心構え						
6回目	5/28 日常行動検査(チームマネジメント)						
7回目	6/11 学校イベントに向けて						
8回目	6/18 学校イベントに向けて						
9回目	6/25 学校イベントに向けて						
10回目	7/2 学校イベントに向けて						
11回目	7/9 学スタ説明会						
12回目	7/16 夏季休暇に向けて(個人目標を立てる、規律とルールを守って安全に過ごせるように) / インフォメーション						
13回目	8/20 夏季休暇の振り返り / 今後のスケジュール確認						
14回目	8/27 期末試験(課題:前期の振り返りを経て、後期の目標と計画をシートにまとめる)						
15回目	9/3 前期の振り返り及び後期に向けて						
準備学習 時間外学習							
評価方法	授業態度 70% グループワーク 30%						
受講生への メッセージ	新しい環境での学校生活がスタートします! 楽しみもあれば不安もあると思いますが、皆さんが安全安心に学校生活を送れるように進めていきます。少しでも気になる事や不安な事は一緒に解決をしながら、有意義な学校生活を共に送りましょう! また、ホスピタリティ分野1年生合同で授業を進めますので、ホスピタリティマインドをもって取り組みましょう!						
【使用教科書・教材・参考書】							
タブレット持参すること							

科目名 (英)	コミュニケーション講座 Communication Guidance	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	島崎満美子 / 平田 美菜子
学科・コース	ホスピタリティビジネス科・ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日1時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【授業の学習内容】 接客をするうえで必要な実務知識を深めて、サービスの基本を学びます。意識的にコミュニケーションを考え、スキルを使うことによって、円滑なコミュニケーション・心地良い人間関係を築くことを習得する。 ※実務経験:専門学校にて、コミュニケーション、接客マナー、接客サービス等の講義を行っている講師である。							
【到達目標】  コミュニケーションスキルアップ検定合格。 人間関係作りのツールとなるコミュニケーション能力を習得し円滑なコミュニケーションを図ることができる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション 自己紹介 コミュニケーションとは?
2回目	脳の働き 理論→実践を学ぶことができる
3回目	コミュニケーションと社会 知識→実践を学ぶことができる
4回目	コミュニケーションの誤解 知識→実践を学ぶことができる
5回目	コミュニケーションスキルアップ検定について (コミュニケーションとは 自己表現スキル・自己紹介) 知ることができる
6回目	基本的会話スキル向上をさせることができる(①プロセス、聴く・話すの基本、気持ちや考え方の交換を学ぶ)
7回目	自己表現スキルを身につけることができる(①仕事の上で必要とされる表現技術を学ぶ)
8回目	自己表現スキルを身につけることができる(①仕事の上で必要とされる表現技術 ②アングーマネジメントを学ぶ)
9回目	社会的スキルを身につけることができる(対人行動、対人マナーを学ぶ)
10回目	社会的スキルを身につけることができる(対人マナー②を学ぶ)
11回目	社会的スキルを身につけることができる(対人マナー③を学ぶ・文書作成の実践)
12回目	サービスマインドを身につける(心得、姿勢について学ぶ)
13回目	ソーシャルスタイル 理論について学ぶことができる
14回目	ロールプレイングテスト+レポートを行い自身の習熟度を把握することができる
15回目	総まとめを行い、個々の授業を通じて身に付けたことを次につなげることができる
準備学習 時間外学習	
評価方法	ロールプレイングテスト50% レポート 50%
受講生への メッセージ	コミュニケーションの取り方の方法を学び、実践してみよう。
【使用教科書・教材・参考書】  コミュニケーションスキルアップ検定テキスト	

科目名 (英)	サービスサイエンス概論 Introduction to Service Science	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	林田 裕也
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 金曜日2時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ※実務経験:パークハイアット東京7年間勤務、リゾートトラスト社東京ベイコート倶楽部東京後、株式会社プライムコンセプト12年専務取締役、株式会社プライムブランディングデザイン取締役副社長、ホテル旅館運営会社プランアクト取締役副社長による実際に現場で使えるサービスを追求することができる授業です。							
【到達目標】 サービスを単に、既存商品を転送するものではなく、いかに付加価値をつけ顧客を感動させる事ができるかの視点で、サービスサイエンスの知識とスキルを身につける事ができる、またそれを実践できるレベルをゴールとする							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション・自己紹介
2回目	サービスと顧客の行動心理学的アプローチと構造理解 ができる
3回目	無形サービスが顧客へと与える心理的影響力の理解 ができる
4回目	サービスを顧客へ正しく届ける為の基本構造を理解 ができる
5回目	顧客にとって記憶に残る印象と宿泊体験の相互作用について理解できる
6回目	顧客が本当に求めているサービスと、宿側が勝手に届けたいと誤認しているサービスの違いを理解 ができる
7回目	「おもてなし力」は、顧客行動心理学の理解と追求である事を理解できる
8回目	サービス力で無形商品に価値を与え、金銭的価値を高める為の方法が理解 ができる
9回目	サービスが顧客に与える行動心理学的なアプローチを体感 できる
10回目	サービスが顧客に与える行動心理学的なアプローチを自分で構築する事ができる
11回目	サービス商品が顧客に実現させる心の付加価値を体感 ができる
12回目	クレームの基本構造の理解と心理的アプローチへの理解 ができる
13回目	なぜおもてなしには、感動が必要なのか？サービスで感動を作る重要性の理解 ができる
14回目	簡易プレゼンテーション
15回目	簡易プレゼンテーション * 補足授業
準備学習 時間外学習	
評価方法	授業への参加姿勢(50%)及びプレゼン評価(50%)
受講生への メッセージ	サービスを顧客へ正しく届ける為の基本構造を理解 ができる事で、自身のサービス力を最大限に顧客へ届けるメカニズムが理解できます。まさにサービスを科学する事で付加価値と行動心理学的な効果的なアプローチができるようになります。今後の宿泊業界で戦っていける大切な知識をお伝えしますので、一緒に頑張りましょう!
【使用教科書・教材・参考書】	
無し	

科目名 (英)	タブレット演習 & ITリテラシー Practice for Tablet&IT literacy	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	佐野太一/新倉 友梨恵
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜4限目/水曜4限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>・MS_AzureAI900検定に向けたプログラムに参加しながら現在・未来も必要不可欠となる知識を習得します。          ※実務経験:ITリテラシー理解度テストに合格した教員や専門の期間による授業を行います。</p>							
【到達目標】							
<p>・IT/DXリテラシーに関する基礎知識を学び、正しく理解し活用することができる。          ・個人情報やSNSの特性や危険性について理解することができる。          ・MS_AzureAI900検定合格</p>							

授業計画・内容	
1回目	4/11(金)オリエンテーション、授業内容・シラバスの説明、タブレット状況の確認
2回目	4/18(金)IT/DXリテラシーについて学ぶことができる①
3回目	4/25(金)IT/DXリテラシーについて学ぶことができる②
4回目	6/25(水)3限目 MS_AzureAI900オリエンテーション実施
5回目	6/25(水)4限目 MS_AzureAI901オリエンテーション実施
6回目	6/27(金)MS_AzureAI900自己学習
7回目	7/1(火)MS_AzureAI900自己学習
8回目	7/2(水)MS_AzureAI901自己学習
9回目	7/4(金)MS_AzureAI901自己学習
10回目	7/8(火)MS_AzureAI900自己学習
11回目	7/9(水)MS_AzureAI902自己学習
12回目	7/11(金)MS_AzureAI902自己学習
13回目	7/15(火)MS_AzureAI901自己学習
14回目	7/16(水)MS_AzureAI900検定
15回目	
準備学習 時間外学習	基本的には自宅学習が必要になる科目です。授業以外でもしっかりとオンライン講座を活用しながら資格取得に向けてチャレンジしてください。
評価方法	IT/DXリテラシー理解度テスト60%、MS_AzureAI900検定40%
受講生への メッセージ	皆さん ご入学おめでとうございます！MS Azure AI-900認定試験は、Microsoft AzureのAIサービスに関する基礎知識を証明するための試験です。合格するメリットとしては①キャリアの向上②AIとクラウド技術の基礎知識を証明することで、IT業界でのキャリアアップに役立ちます。また、更新不要の為此の資格は永年有効です。 試験に合格すると、AIとクラウド技術の基礎知識を持つことが証明され、将来の学習やキャリアに大いに役立つでしょう。頑張ってくださいね！
【使用教科書・教材・参考書】	
<p>・タブレット          ・IT/DXリテラシー 冊子・MS_AzureAI900 オンライン教材</p>	

科目名 (英)	プレゼンテーション(パワーポイント)演習 Practice for Presentation	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	政木 恵美先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 金曜日3限目
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
※実務経験: 専門学校にてプレゼンテーションや就職、エステティックの講師として従事。							
効果的なパワーポイントの作成方法、自己紹介や各テーマに合わせたプレゼンテーションの仕方を習得できるよう授業を実施します。							
それぞれがプレゼンテーションを実施することやプレゼンテーションのポイントとテクニックを実践的に学び、聞く力と伝える力を伸ばし、人前で話すことに慣れてもらいます。							
【到達目標】							
パワーポイントの基本的な構成や作り方を学ぶことができる。流行りの字体やプレゼンテーション方法をどのように情報収集するのかを学び、時代に合わせたパワーポイントの作成並びに発表資料をつくることができる。作成したパワーポイントを基に発表の練習を繰り返し、相手に伝わるプレゼンテーションの実施ができる。							

授業計画・内容	
1回目	授業の目的説明、人前での自己紹介を通して、今後学ぶプレゼンテーションのヒント、パワーポイント使用の魅力をイメージできるようになる
2回目	プレゼンテーションのポイントとテクニックを理解する。
3回目	プレゼンテーション資料作成の方法、パワーポイントの確認。プレゼンテーションをするまでの計画を立て、アイデアを形に落とし込む
4回目	計画に沿った資料を使って、プレゼンテーションの話方に慣れる。
5回目	話すトレーニング、発表に向けての修正をする。
6回目	ミニプレゼンテーション①パワーポイントを使用してのプレゼンテーションに慣れることができる。プレゼンを見て様々なスキルに気づく。
7回目	フィードバックを通して、グループでどうしたらプレゼンがうまくいくかを共有する。
8回目	グループで考えながら工夫をしながらパワーポイント作成ができるようになる。人前でのプレゼンテーションを行うことで話すことに慣れる。
9回目	グループでのプレゼン発表を行い、複数のプレゼンを見ることで様々なスキルを習得する。
10回目	聞き手に合わせた分かりやすい表現力を習得する。
11回目	プレゼンテーションの資料作りを各自行い、どう自分を表現できるか、考える力がつくようになる。
12回目	プレゼンテーションの資料作り、話す練習を各自行い、相手に伝えるためにはどうすれば良いか考える力がつくようになる。
13回目	プレゼンテーションの話す練習を各自行い、伝え方のポイントを習得する。
14回目	試験(各自作成したパワーポイントなどの資料を使用したプレゼンテーション)
15回目	試験(レポート)、総評、まとめ
準備学習 時間外学習	基本的には授業内で行う。プレゼン資料作成、情報収集など、授業内で終わらなかった場合は時間外学習。
評価方法	授業の中で行うプレゼンテーション60%、レポート30%、提出物10%での評価とする。
受講生への メッセージ	社会人になると、年齢層の違う先輩方やお客様、取引先の方と話す機会がたくさんあります。また、就職活動で自分をアピールするときも、自分の伝えたいことを正確に伝える力は必要です。必要になった時に慌てて知識を習得するのではなく、早い段階で慣れておくことが大事です。プレゼンテーションに慣れること、効果的なテクニックを習得することを目標に授業をしていきます。プレゼンテーションの授業を通して、人前で話すことに慣れ、話すことに自信をつけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
iPadまたはPC、モニター	

科目名 (英)	ホテル概論 Accommodation business training II	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	佐藤 俊子
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						曜日・時限	
国内外のホテルについて学び、有名なホテルの名称や特徴を学びます。							
※実務経験：(株)東急ホテルズインターナショナルにてマーケティング部に所属し、海外ホテルのプロモーションに従事。その後、ヒルトン福岡シーホークと西鉄ホテルズにてスタッフにホスピタリティ英語指導を10年以上経験。全国通訳案内士として英語でのインバウンド対応。国交省認定1級講師として観光関係者を指導。							
【到達目標】							
東京、大阪、京都、沖縄、九州の有名なホテルの正式な名称とその特徴が言えるようになる。 福岡のホテルの歴史と現在を知ることができる 外資系と国内系のホテルの違いを知ることができる							

授業計画・内容	
1回目	授業の進め方とこの授業の目標を知ることができる
2回目	東京の御三家ホテル(帝国、オータニ、オークラ)を知ることができる
3回目	帝国ホテルの歴史とサービスの特徴を知ることができる
4回目	福岡市内のホテルの歴史と今を知ることができる
5回目	東京の外資系ホテルを知ることができる
6回目	東京ディズニーリゾートの直営とオフィシャルホテルを知ることができる
7回目	大阪のホテルを知ることができる
8回目	京都のホテルを知ることができる
9回目	九州のホテルを知ることができる
10回目	沖縄のホテルを知ることができる
11回目	ホテルのレストランはなぜ高いかを知ることができる
12回目	ホテルのアmenitiesを知ることができる
13回目	前期のまとめとすることができる
14回目	テスト実施
15回目	テストの返却とフィードバックをして自分の学習習熟度とウイークポイントを理解することができる
準備学習 時間外学習	自分で福岡市内のホテルを見てまわること。そしてその際、メモをとって記憶にとどめること
評価方法	授業態度 30% 筆記試験 70%
受講生への メッセージ	ホテルは楽しいところです。なぜ楽しいのかを知るために情報を集めましょう
【使用教科書・教材・参考書】	
オリジナルレジメ	

科目名 (英)	マナープロトコール(3級) MannerProtocol(3rd level)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	加藤亜紀先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日1時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>NPO法人日本マナー・プロトコール協会認定講師。多くの大学、専門学校等で非常勤講師として講義を行っている講師が、長年の指導経験を活かし分かりやすく、興味を持ってもらえるように講義を行います。講義では、座学だけではなく、好感度の高い挨拶、和室の所作、名刺交換の練習等々、実技も取り入れ、知識だけでなく身につけることを重視します。また、食事のマナーではDVDの視聴、礼装・冠婚葬祭はスライドを取り入れるなど、イメージしやすい工夫を凝らした講義内容にしています。「予習シート」で予習を行い、授業に参加する準備ができた状態で学習に取り組むことができます。各章が終われば「確認テスト」、問題集、模擬試験等で学習成果を確認し、理解不足の部分は再度復習を行い授業の中で受験対策もしっかりと行っていきます。学習の成果として最終的に文部科学省後援「マナー・プロトコール検定3級」の合格を目指します。</p> <p>※実務経験:講師歴23年。大学、専門学校、ニチイ学館で講義を行う。大学病院、医療機関、企業、学校での接遇研修。裏千家専任講師 茶名宋紀。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>マナープロトコール検定3級の対策授業を通じて、国内外のマナー&amp;プロトコールを身に付け資格取得ができる。資格を取得することで就職活動においても自己PRで差をつけることができる。マナーの歴史、冠婚葬祭、食事のマナー等を学ぶことで日々の生活が豊かになり、自信を持って社会人としての新たなスタートを切ることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション(講師自己紹介、講義内容、検定試験についての説明)。マナーとは何か、「マナー」「エチケット」「プロトコール」の違いを理解する。好印象を与えるコミュニケーションについて理解し(第一印象の重要性、挨拶、お辞儀、所作)実践練習を行い、身につけることができる。
2回目	マナーの歴史と意味、西洋のマナー、アジアのマナーの成立を歴史や宗教的な関わりを知ることでマナーが確立された背景について理解を深めることができる。国際人としてのプロトコールの原則、具体的な席次例について学ぶことで、ホテルのご案内にも活かすことができるようになる。
3回目	パーティの種類や特徴を理解することで、実際にホテルで行われるパーティの意味を理解し、適切な行動ができるようになる。西洋と日本での挨拶の仕方の違い、紹介の順序、海外の贈り物、レディファーストについて学ぶことでスムーズな紹介や外国人に対する配慮ができるようになる。
4回目	国旗の扱いや掲揚順序を理解することで、国際行事においても国旗に興味を持てるようになる。国や宗教による価値観について学ぶことで、海外の方に配慮する気持ちが持てるようになる。聴き方、話し方について学ぶことで、コミュニケーションのスキルアップに繋げることができる。
5回目	敬語について学ぶ。尊敬語、謙譲語、丁寧語の置き換え例や訂正問題、クッション言葉の使い方を敬語のプリントを使用し、例題を実際に考え、書いてみることで敬語の理解を深める。生活の中でも敬語の使い方を考えて活用できるようにする。
6回目	ここまでの内容の復習を行う。問題集を解き、理解を深める。自信を持って中間テストに臨むことができる。
7回目	中間テスト(ここまでの内容が理解出来ているか確認テストを行う)・振り返り
8回目	礼装の基準(スライド視聴)、洋装・和装の礼装、パーティでの服装を学ぶことで場面に応じた服装の必要性を理解することができる。喜ばれる贈答品、贈り物のルールを理解し、場面に応じて適切な祝儀袋、不祝儀袋が選べ、表書きが書けるようになる。
9回目	手紙のマナー、手紙の基本構成を学び、実際に手紙を書いてみることで、自信を持って手紙を書くことができるようになる。演習として、お世話になった人に手紙を書いてみる。
10回目	礼装の基準、喜ばれる贈答品、手紙のマナーの問題を解き、復習する。ビジネスシーンのマナー① 社会人に必要なプロ意識、効果的な仕事の進め方、報告連絡相談の基本、名刺交換(実践練習)。ビジネスパーソンとして適切な振る舞いができるようになる。
11回目	ビジネスシーンのマナー②電話応対、来客応対、ご案内、出迎えと見送りのマナーでは、ロールプレイングを行い、電話応対、ご案内の仕方、お茶の出し方を身につけることができるようになる。
12回目	ビジネスシーンのマナー③ビジネス文書の構成を学ぶ。実際にビジネス文書を作成することで構成を理解することができるようになる。ビジネス文書とメールの文書構成の違いを知ることができる。ビジネスシーンのマナーまとめ、問題集を解くことで理解を深めることができる。
13回目	ここまでの内容の復習を行う。問題集を解き、理解を深める。自信を持って期末テストに臨むことができる。
14回目	期末テスト
15回目	期末テストの振り返り
準備学習 時間外学習	自宅学習:次回授業の該当部分の「予習シート」を解き、授業に参加する。(行う予習シートは講師が前の授業で指示する)進んだところまで問題集を使用し復習する。学習した部分を復習ワークシートを使って復習する→定期的に提出をさせ、確認する。
評価方法	①中間テスト、期末テストの点数 80%(検定試験と同様の形式での筆記試験) ②授業態度・提出物を期日までにきちんと提出する 20%
受講生への メッセージ	日本人として知っておきたい冠婚葬祭、社会人として必要なビジネスマナー、国際人として必要なプロトコール(国際儀礼)について幅広く学びます。学んだことは生涯の財産となります。学習したことを資格取得という形にすることで、就活にも自信を持って臨めるでしょう。実践を通して学んだ知識は、目指すホテル業、観光業等、接客・サービスの第一線で活かすことができるでしょう。目標は文部科学省後援「マナー・プロトコール検定3級」の合格です。検定試験に合格できるように一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
「マナー&プロトコールの基礎知識」、「マナー・プロトコール検定2級・3級問題集」NPO法人日本マナー・プロトコール協会発行	

科目名 (英)	メンタルヘルスケア Mental health care	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	加藤 亜紀先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日1限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
心を整理し、自分が心地よく過ごせるように「気づき」から実行に移せる講義を行います。生徒同士のコミュニケーションも大切にし、グループワークやディスカッションを取り入れ、他者の考えや意見からも感じたことをコミュニケーションの取り方に活かして、自分が生きやすい空間の作り方を考えられる授業を行います。

※実務経験：ニチイ学館にて20年間、大学病院や病院、クリニックでの接遇研修を行う。(医師、看護師、医療事務者、臨床検査技師等の他部署のスタッフも対象)病院研修は、メンタルが弱っている患者様、患者様のご家族への対応になり、健常者の接遇とは違う配慮が必要です。また、現場スタッフ対象のため切実な実例で具体的な対応についての研修を行ってきました。動物病院看護師を目指す生徒たち50名(2クラス)、海洋系の仕事をを目指す生徒15名に「ホスピタリティ」の授業を行う。美容専門学校生徒86名(2クラス)の生徒達に「コミュニケーションマナー」の授業を行う。裏千家専任講師 茶名宋紀。

【到達目標】  
自分自身の心身の健康の為に必要な知識や行動を知り、自分の整え方を学び実践することができる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、自己紹介からのコミュニケーション。(好きな方を選択し、同じグループで集まってみる。いつもと違う仲間を発見することができる。) 「できたことノート」を書き、「やった」ではなく「できた」で肯定感を高めることができる。やる気が習慣化し、意欲的になることができる。
2回目	ジャーナリング:文字を通して自分と向き合うことで気持ちを整理し、ストレス軽減やクリエイティビティ向上に効果的な方法を学ぶことができる。 リフレーミング:自分の短所を書き出しで長所に変換してみる。自分を知り、自己肯定感を持つ。
3回目	ストロークの法則を知る:プラスのストローク、マイナスのストロークを書き出して、ストロークについて知ることができる。相手のいいところを見つける訓練で、ストレスが減ることを実感することができるようになる。誉め言葉をストックして、プラスのストロークのサイクルを作ることができる。
4回目	心のコップを自己点検してみる:心にマイナスのストロークを取り除き、プラスに変える。傷つくことは、自分を成長させるチャンスであることに気づくことができるようになる。「傷ついたときこそ、成長のサイクル」をつかむことができる。返し方でプラスの受け上手になることができる。
5回目	アサーション:さわやかな印象を与える自己表現を学ぶ。心の葛藤に気づき「ノー」と言える勇気を持つ。相手を尊重し、自分の意見も言える上手な断り方ができるようになる。自分の持つ頑固なビリーフを柔軟なビリーフに置き換えることで物事の捉え方を柔軟にし、楽に生きられるようになる。
6回目	アンガーマネジメント:怒りをどうコントロールし表現するのか。「怒り」は隠された「心の痛み」。上手に怒りを伝える方法を学ぶことでストレスを溜めずに自己主張もできるようになる。自分のネガティブ感情とポジティブ感情を知り、心を整理することができる。
7回目	足を知る(お茶の心):できないこと、欠けていることばかりに人は目がいくが、「今のままで十分」という考えを知ることができる。自己肯定感から心のゆとりを感じる事ができる。この授業で学んだことのまとめを書いてみる。(このまとめがレポート評価の対象になります)
8回目	
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	
準備学習 時間外学習	「できたことノート」をつける。日曜日には今週のベスト「できたこと」を書いてみる。⇒授業で発表してもらおう等講義内容に繋げる。
評価方法	授業態度と最後の授業(7回目)で書くレポート提出80%、授業態度20%で評価
受講生への メッセージ	感じ方や考え、見方を変えると違う景色になります。自分のストレス解消方法を見つけ、心の整理をしてみましょう。学生生活では、友達をたくさん作って楽しみながら過ごして欲しいと思います。授業では考えたり、迷ったりしながら心地よい方向に進めるように一緒に学んでいきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
講師の資料にての授業	

科目名 (英)	メンタルヘルスケア Mental health care	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	岡田 千恵乃先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日1時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢指導インストラクターとして10年、ヨガインストラクターとして3年指導を続けている教員が、ヨガを通し、身体の使い方をお伝えします。</li> <li>・解剖学、東洋医学、呼吸法を通じ本来の柔軟性を取り戻せるよう授業を行います。</li> </ul> <p>※実務経験：姿勢指導インストラクター10年、ヨガインストラクター3年</p>							
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の身体の使い方を知り、心と身体を健やかに保てるようコントロール出来る。</li> <li>・負担のかからない綺麗な姿勢を身につけ第一印象をより良くすることが出来る。</li> </ul>							

授業計画・内容	
1回目	
2回目	
3回目	
4回目	
5回目	
6回目	
7回目	
8回目	基本の座り方、立ち方を習得できる(骨盤の前傾、後傾、ニュートラル)
9回目	ヨガを通し自身の身体を整えることが出来る(背骨、呼吸法について)
10回目	ヨガを通し自身の身体を整えることが出来る(上半身)
11回目	ヨガを通し自身の身体を整えることが出来る(下半身、股関節、足首)
12回目	ヨガを通し自身の身体を整えることが出来る(四つ這い)
13回目	ヨガを通し自身の身体を整えることが出来る
14回目	ヨガを通し自身の身体を整えることが出来る
15回目	ヨガを通し自身の身体を整えることが出来る
準備学習 時間外学習	
評価方法	授業内評価+授業態度100%
受講生への メッセージ	初めまして。今年度から担当することになった岡田です。日頃の立ち方、身体の疲れや、スタイルの見え方にも大きく関わっています。かたまっている筋肉を一緒に動かし、心と身体を整えていきましょう!! きつい動きはしないので、運動が苦手な方やヨガをやった事がない方も安心して下さいね。
【使用教科書・教材・参考書】	
毎回、動きやすい服装・自分のタオルとヨガマットの準備をよろしく願いたします。【ヨガマット8F倉庫内から各自持参してください】	

科目名 (英)	英検対策(レベル別)/英語Ⅱ Eiken measures	必修 選択	必修	年次	1.2	担当教員	はなだ 東砂 / 坂田 未央
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 月曜・火曜2限目
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 生徒の実用英語検定合格に向けて15レッスンにわたり講義を行う。リーディング・ライティング・面接試験対策を行い、生徒の実用英語検定試験の合格に向けて、総合的な英語力の向上に務める。実用的なビジネス英語の基本を学ぶ。</p> <p>※実務経験:英語講師歴20年以上。英語翻訳業実務経験5年以上。実用英語検定試験面接試験官歴23年。Professional Practices for English Language Teaching (英語教育のための専門的プラクティス)/British Council (ブリテッシュ・カウンシル)受講終了などの経歴及び資格を有する。</p>							
<p>【到達目標】 基礎英語を学ぶ。英検に合格できる。実用的なビジネス英語の基本を学ぶ。</p>							

授業計画・内容	
1回目	英検とは / 英文法基礎 / 単語・熟語 / 英作文 / リスニング練習問題
2回目	英検の問題形式 / 英文法基礎 / 単語・熟語 / 英作文 / リスニング練習問題
3回目	英検の問題形式 / 英文法基礎 / 単語・熟語 / 英作文 / リスニング練習問題
4回目	英検の過去問題練習
5回目	英検の過去問題練習
6回目	英検スピーキング練習 / 英文法基礎 / 単語・熟語
7回目	中間テスト: 英検スピーキング練習
8回目	英検スピーキング練習 / 英文法基礎 / 単語・熟語
9回目	英検スピーキング練習 / 英文法基礎 / 単語・熟語
10回目	英検スピーキング練習 / 英文法基礎 / 単語・熟語
11回目	英検の問題形式 / 英文法基礎 / 単語・熟語 / 英作文 / リスニング練習問題
12回目	英検の問題形式 / 英文法基礎 / 単語・熟語 / 英作文 / リスニング練習問題
13回目	期末テスト/ 英検過去問題 / スピーキング
14回目	期末テスト/ 英検過去問題 / スピーキング
15回目	企画レッスン
準備学習 時間外学習	休暇時に課題提出あり
評価方法	授業態度10%、出席率10%、単熟語テスト20%、中間テスト20%、期末テスト20%、課題提出20%を総して採点
受講生への メッセージ	基礎英語の総復習から英検合格を目指して、丁寧に学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
単語・熟語プリント/ 英検過去問題/ 基礎英文法テキスト テキストブック各級3級 準2級、2級 / 英検過去3回問題集(最新のもの)3級 準2級、2級 / 英検過去6回問題集(最新のもの)準1級等	

科目名 (英)	英検対策(レベル別)/ 英語Ⅱ Eiken measures / English Language	必修 選択	必修	年次	1・2	担当教員	坂田 未央
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日2時限 / 火曜日2時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          当校で2020年よりTOEIC、英検対策の授業を受け持ってきた講師が、目標にする英検の級に応じて、主に読解・語彙・リスニングを中心に指導する。リスニング力アップのためには特にフォニックスなどにもフォーカスを当ててピンポイントで指導する。</p> <p>※実務経験:2020年より当校ホテル・エアラインの学生対象にTOEIC、英検対策の授業を行う。2024年 福岡こども専門学校にて保育英会話講師。自宅にて行う英語の個人指導実績は過去に90名以上。(進学実績:九州大・早稲田大・上智大・東京理科大、法政大・明治大など)。東京外国語大学外国語学部英語科卒業。通訳経験、翻訳業務経験多数。英検1級 TOEIC975</p>							
<p>6          目指す英検レベルの文法、語彙を身に着けることができる。          リスニングスキルに必要な英語の音声の特質を学び、英語特有の音声に慣れ、リスニング力を上げることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	年頭のオリエンテーション。それぞれの目標とする級を自覚しモチベーションを上げる。語彙文法問題に取り組み試験内容に慣れることができる。
2回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる。
3回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる。
4回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる。
5回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる。
6回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる。
7回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる
8回目	これまでの振り返りテスト(中間テスト)により取りこぼした弱点を知ることができる
9回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる
10回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる
11回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる
12回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる
13回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる
14回目	前期の振り返りテスト(期末テスト)により取りこぼした弱点を知ることができる
15回目	前期の講評と、学期末のレクリエーション活動(映画視聴など)
準備学習 時間外学習	毎回ではありませんが、作文の課題などを出して、提出してもらいます。それは評価に結び付きますので、きちんと期日までに提出していただきます。
評価方法	日頃の授業内のパフォーマンスと提出物 50% 定期テスト(2回) 50%
受講生への メッセージ	インバウンド観光客がますます増加する日本にあっては、英語でコミュニケーションできることが必須の時代になってきています。英検資格取得を目標に、ともにがんばって、みなさんが「英語を得意な自分」になれますようお手伝いします。一緒に英語の山を登ってまいりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
「英検過去6回全問題集」「中学校3年間の英語が一冊でしっかりわかる問題集」ほか、必要に応じてプリント	

科目名 (英)	英語 I / 英語 II English Language I・II	必修 選択	選択必修	年次	1.2	担当教員	STEVEN MEYERS先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日3限目・火曜日3限目
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>※実務経験: I have been teaching English in Japan for 21 years, with the primary focus on helping early beginner to intermediate level students develop and improve their English conversation skills. This experience includes: working five teaching contracts with JGSDF – Nursing college (2017–2021) to prepare curriculum, provide instruction and testing for an English Communication course; and twenty-one years teaching Eikaiwa adult classes, private English Adult Group classes, and Japanese corporate English conversation classes.</p> <p>私は日本で21年間英語を教えており、主に初級から中級レベルの生徒の英会話スキルの向上と向上を支援することに重点を置いています。この経験には、陸上自衛隊看護学校との5つの教員契約(2017-2021)での英語コミュニケーションコースのカリキュラムの準備、指導、テストの提供、および21年間の成人向け英会話クラス、成人向けプライベートグループ英語クラス、および日本の企業向け英会話クラスの指導が含まれます。</p>							
【到達目標】							
<p>英語の四技能(読む・聞く、話す、書く)を学び、英語基礎コミュニケーション能力を身に付けグローバルに活躍できるようになる。By learning the four English skills (reading, listening, speaking, and writing), students will acquire basic English communication skills and be able to play an active role on the global stage. This class will exercise all these skills, with an emphasis on speaking and listening.</p> <p>このクラスでは、特に話すことと聞くことに重点を置いて、これらのスキルを養成します。</p>							

授業計画・内容	
1回目	Go over our learning objectives, class content, timeline and syllabus. Discuss study skills and tools to assist you. Introducing yourself – Formal vs Informal (casual) Hobbies and interests. Nicknames.
2回目	Using Personal Titles. Asking and giving personal details (Fictional information will be used in class)
3回目	Asking and giving personal details (continued).
4回目	Countries / Nationality Adjectives (for people and things) / Languages
5回目	Numbers Cardinal vs Ordinal Small and medium-sized number. (0-999)
6回目	Larger Numbers: Thousand, million and billion
7回目	Pronouns and English contractions Places/Rooms at home
8回目	Midterm test. Using present continues tense in conversation.
9回目	Reading, comprehension, and discussion Possessive adjectives
10回目	Describing people and things Descriptive adjectives and their opposites.
11回目	Talking about weather and temperature.
12回目	Talking about family and relations
13回目	Places around town and locations
14回目	Telling the time. Simple and advanced styles. Class Review.
15回目	Final Exam Final exam review, class wrap-up.
準備学習 時間外学習	
評価方法	課題/宿題 20% 中間テスト 30% 期末テスト 50%
受講生への メッセージ	Welcome to a fun learning experience. The goal of this course combine an instructional learning environment with in-class activities and games that are interesting and enjoyable. 楽しい学習体験へようこそ。このコースの目標は、指導的な学習環境と、興味深く楽しいクラス内アクティビティやゲームを組み合わせることです。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	英語 I / 英語 II English Language I・II	必修 選択	選択必修	年次	1.2	担当教員	TUNDE ODEGBARO先生/STEVEN MEYERS先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						曜日・時限	月曜日3限目・火曜日3限目
【学習内容】 英語でのコミュニケーションやエアライン業界に必要な英語力を身につけます							
【実務経験】 英語講師歴10年							
【到達目標】 英語の四技能(読む・聞く、話す、書く)を学び、英語基礎コミュニケーション能力を身に付けグローバルに活躍できるようになる。 接客英語をロールプレイング形式で学び、自身で表現することができる。							

授業計画・内容	
1回目	人々の行動を説明できる
2回目	人々の計画や意図を説明できる
3回目	進行中の活動を説明できる
4回目	過去の活動について説明できる
5回目	レッスン1-4の復習
6回目	過去と未来の活動を表現できる
7回目	過去と未来の義務を表現できる
8回目	健康診断や医療アドバイスを理解できる
9回目	時間と期間を表現できる
10回目	レッスン6-9の復習
11回目	助けを提供することができる
12回目	家庭内の問題について話せる
13回目	テストのための復習
14回目	テスト
15回目	テスト解説
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください
評価方法	最終テスト75%、授業内での発表数25%
受講生への メッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。
【使用教科書・教材・参考書】 授業内筆記(この授業専用のノートを用意してください。)※注) 他の授業のノートと一緒にしないようにしてください。 必要に応じて「Hospitality English for Careers at Hotels.」教科書を使用します。	

科目名 (英)	航空知識 I /Wメジャーカリキュラム Study of Airlines Industry I	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	岡田 千恵乃
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日2時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          エアライン業界にて客室乗務員として勤務し、チーフパーサーとして便のマネージメント、後輩指導などを行ってきた教員が、航空業界で必要な専門知識、ならびにサービスマインドについての授業を行います。学生達が目指す職種への興味と理解を深め、進路選択を行えるよう支援します。</p> <p>※実務経験: エアーニッポン株式会社(現ANA)にて5年間客室乗務員として勤務</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>・航空業界、CA業務についての知識の習得 ・サービスマインドの向上 ・自身で考え行動に移す実行力を身につける</p>							

授業計画・内容	
1回目	相手からの情報を処理し、自身の言葉で情報を伝達できる(自己紹介、他己紹介、アウトプットの重要性の理解、ラーニングピラミッド)
2回目	国内外における航空会社の種類、会社概要、グループなどを知り、航空業界就職へのモチベーションを高めることが出来る
3回目	CA業務の理解を深める事が出来る
4回目	機内ロールプレイ①を通しお客様への適切な声かけや行動が出来る(搭乗～のご案内、安全性チェック)
5回目	ANNにて必要な情報を的確にお客様に提供することが出来る
6回目	機内ロールプレイ②を通しお客様への適切な声かけや行動が出来る(機内サービス、機内販売)
7回目	接客における立ち居振る舞い①(立ち方、歩き方、座り方、お辞儀、物の指し示し方、)が出来る
8回目	緊急時の対応を把握し、デモンストレーションを実施出来る
9回目	機内ロールプレイ③を通しお客様への適切な声かけや行動が出来る(機内でのクレーム対応)
10回目	リフレーミングを活用し、効果的なアプローチが出来る (セカンドベスト、販売促進、モチベーションアップ)
11回目	自身が今後大切にしたいサービスマインドについて認識することが出来る(感動したサービス、気付き力)
12回目	興味がある航空会社について研究を深めアウトプット出来る
13回目	今まで学習した内容の復習を行い不明点をなくし理解を深める事が出来る
14回目	★評価週/テスト
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	企業研究については日頃からアンテナをたてておきましょう。航空、観光業界に関する時事についても授業で確認していくので自ら情報を取っておいてください。
評価方法	
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます！皆さんが自分の夢を叶える為には、授業の中で是非、積極的に興味を持ち、「知りたい！」という気持ちを追いかけてください。皆さんの興味が意識になり、行動に変わっていきます。皆さんのこれからの成長を心から楽しみにしております。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	国内旅行概論 Domestic travel overview	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	横瀬 敦子
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日1限目
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>※実務経験:あり(株式会社JALナビア国内予約グループ)</p> <p>※学習内容:日本国内の主な都市の観光地をテキストを使用して詳しく学ぶ。毎週繰り返しの国内地理を学ぶことでお客様への案内にも役立つ授業を行う(案内プランやパンフレット作成など)。また、国家資格取得(国内実務)に向けた内容もピンポイントで行うことで、過去問題も解くことも出来る</p>							
【到達目標】							
旅行に関する国内地理を学び、主な観光地について説明できるようになる。日本人に人気のある観光地とインバウンドに人気のなる観光地を比較し、インバウンド旅行者に対して的確な観光地紹介ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション(授業の目的の共有と進め方・評価方法) 日本の地域と中心都市について学び理解を深める
2回目	日本各地ランキング(おいしい水、温泉、絶景など)を学び、理解出来る
3回目	日本の交通事情(ローカル鉄道、空港)を学び、理解できる
4回目	九州 九州の空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・特産品を学び、理解できる
5回目	沖縄(離島含む) 沖縄・離島の空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・特産品を学び、理解できる
6回目	小テスト オリジナル案内スピーチ作成 わかりやすく案内出来る
7回目	北海道 道内の空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・特産品を学び、理解できる
8回目	関東 関東の空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・特産品を学び、理解できる
9回目	関西 関西の空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・特産品を学び理解できる
10回目	小テスト オリジナル案内スピーチ作成 わかりやすく案内出来る
11回目	日本の世界遺産 I を学び、案内できる
12回目	日本の世界遺産 II を学び、案内できる
13回目	評価試験に向けた対策(オリジナル旅程表の作成)
14回目	オリジナル旅程発表 評価試験
15回目	試験のフィードバック 前期総復習
準備学習 時間外学習	
評価方法	前期14回目の評価試験100%
受講生への メッセージ	●日本の都市や観光地を詳しく楽しく学んで、実際に社会に出た時のことをイメージしてオリジナルの案内を考え、将来に役立てて下さい。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	キャリアプログラム(随時) career program	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	新倉 友梨恵
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日3時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
クラスメイト、教職員との交流を図りながら学生生活に必要な知識や行動について学んでいきます。

※実務経験:

新倉:ANA福岡空港のグランドスタッフとして5年間勤務。国内国際線の出発到着業務全般・ロードコントロール業務・新入社員研修・外資系エアラインのマニュアルを翻訳し、スタッフへの教育を行うインストラクターとしても従事。

【到達目標】

ホテル・エアライン業界の見学を通じて、ホテルの設備や内装などを学ぶことができる。業界で働いている卒業生との座談会を行い、4年後の自分をイメージすることができる。

授業計画・内容

1回目	2025/4/16新入生歓迎会 13:20-15:00
2回目	4/23 ANAクラウンプラザホテル見学 14:30-15:30
3回目	2025/5/7 なし
4回目	2025/5/14 ベッセルイン博多中洲+福岡空港国内線・国際線 事前学習
5回目	2025/5/21 ベッセルイン博多中洲12:00-13:00、福岡空港国内線見学13:30-
6回目	2025/5/28 なし
7回目	2025/6/11 福岡空港国際線見学会 13:30-14:50
8回目	2025/6/18 ホテル日航見学+辻さん座談会 14:00-15:00
9回目	2025/6/25 AI900オリエンテーション3.4限目
10回目	2025/7/2 ルイガンズ事前学習
11回目	2025/7/9 ルイガンズ見学会 13:30-15:00
12回目	2025/7/16 なし
13回目	2025/8/20 都ホテル事前学習
14回目	2025/8/27 都ホテル見学会 14:00-15:00□
15回目	2025/9/3 なし
準備学習 時間外学習	
評価方法	
受講生への メッセージ	校外実習の際は身だしなみは整えてきてください・荷物は最小限にお願いいたします・メモができるよう準備をお願いします

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	ホスピタリティ講座 Hospitality lecture	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	松岡 尚美
学科・コース	エアライングラウンドスタッフ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>ホスピタリティ・コーディネータ教本をベースにホスピタリティの基礎や定義、実践について理解し、サービスとホスピタリティの違いや対応力、ホスピタリティ・マインドを学びます。 また学んだことを自分で行動に移し、日常生活の中でホスピタリティを実践できるようにします。</p> <p>※実務経験 藤田観光株式会社小倉ワシントンホテルにて4年半フロント課勤務。大手通信会社での社内インストラクターなど企業や専門学校での講師歴は10年以上。 コミュニケーションや就職講座など幅広く担当している。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①日本ホスピタリティ推進協会「アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ(AHC)」の資格を取得することができる。 ②理論と実践の両面からホスピタリティを理解し、マインドとスキルを習得することができる。 ③学んだことを生かし、日常生活においてもホスピタリティ・マインドを持って行動することができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション：講義の説明 ホスピタリティ動画を視聴し、感動を与えるサービスについて理解することができる
2回目	日本のおもてなし文化から、サービスとホスピタリティの違いや語源・歴史について理解することができる
3回目	「観察→推理→理解→行動」の4ステップ “他人の視座”を考えることができる
4回目	ホスピタリティの実践① お客様に好感と安心感を持っていただけるよう、基本マナーを身につけ実践することができる
5回目	ホスピタリティの実践② 効果的な「傾聴」の仕方を学習し、実践することができる
6回目	日本のサービス産業の現状とホスピタリティの重要性を理解することができる
7回目	顧客満足と顧客ロイヤルティの関係性を理解することができる
8回目	「心のバリアフリー」について考え、障がいの特性やサポートの仕方を理解することができる
9回目	異文化コミュニケーション：「やさしい日本語」を学び、現場で実践することができる
10回目	クレームが起きる原因とお客様のお気持ちを理解し、柔軟に対応することができる
11回目	ハラスメントやコンプライアンスを正しく理解することができる
12回目	課題作成 (PC持参)
13回目	課題作成 (PC持参)
14回目	レポート提出
15回目	振り返り
準備学習 時間外学習	ホスピタリティ・マインドを身につけるためには日常生活においても「相手を思いやる気持ち」や「相手の立場に立つ」ことを意識することが重要です。 また、様々な感動体験や自分の体験についてもクラスメイトと共有しながら感性を磨いていきましょう。
評価方法	「ホスピタリティ実践レポート」・・・締め切り厳守。 ※資格認定や授業評価に必要なレポートとなるので、必ず期限を厳守して提出すること。 ※レポートの提出や作成に関して細かいルールがあります。講義の中で説明をしますので理解したうえで作成すること。
受講生への メッセージ	ホスピタリティは感動を与えるコミュニケーションです。ホスピタリティとは何かを一緒に考え理解して今後の行動に生かしましょう。 ホスピタリティを身につけるコツは相手に対するちょっとした気遣いの積み重ねです。クラスメイト、講師、学校職員ともホスピタリティの経験を共有して感性を磨いたり、 行動を起こすことも心がけてください。 ※講義の内容については前後する場合があります。その際は事前に告知します。
【使用教科書・教材・参考書】	
【教科書】ホスピタリティ・コーディネータ教本/日本ホスピタリティ推進協会 その他内容に応じてプリント等配布。	

科目名 (英)	ホテルビジネス実務検定 Hotelier Proficiency Test	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	松岡 尚美
学科・コース	エアライングランドスタッフ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          ホテル運営に関する実務知識を幅広く習得するため、「ホテルビジネス実務検定(H検)ベーシックレベル2級」の取得を目指して学習します。          ホテルビジネス基礎編のテキストに沿いながら各章の解説をします。試験対策として、講義の中で過去問題を解き、試験への耐性をつけていきます。</p> <p>※実務経験          藤田観光株式会社小倉ワシントンホテルにて4年半フロント課勤務。 ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル1級取得。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>①ホテルビジネス実務検定ベーシックレベル2級合格。          ②ホテルの各セクションで求められるニーズや提供すべきサービスも変わるため、ホテル運営に関する実務知識やオペレーションを理解し、知識の底上げをすることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	第3章 料飲部門 (料飲部門の概要、組織と業務役割)を理解することができる
2回目	第3章 料飲部門 (料飲部門の実務)を理解することができる
3回目	第3章まとめ ・ 過去問題集にチャレンジし問題の傾向と実力を知る
4回目	第4章 宴会部門 (宴会部門の概要、組織と業務役割)を理解することができる
5回目	第4章 宴会部門 (宴会部門の実務)を理解することができる
6回目	第4章まとめ ・ 過去問題集にチャレンジし問題の傾向と実力を知る
7回目	第5章 調理部門 (調理部門の概要、組織と業務役割)を理解することができる
8回目	第5章 調理部門 (調理の種類と特徴)を理解することができる
9回目	第5章 調理部門 (西洋料理の基本知識、担当業務①基本ソース～⑦サラダ料理まで)を理解することができる
10回目	第5章 調理部門 (西洋料理の基本知識、担当業務⑧フロマージュ～⑩コーヒー・紅茶まで)を理解することができる
11回目	第5章まとめ ・ 過去問題集にチャレンジし問題の傾向と実力を知る
12回目	検定対策 (マークシート記入練習)
13回目	後期評価試験対策
14回目	評価週
15回目	フィードバック 再追試験 ※検定試験に向けて評価基準を確認し、モチベーションアップを図る
準備学習 時間外学習	①テキストは必ず持参すること。 ②合格することをイメージし、予習・復習の時間(1日5分でもいいです)を取ることを。 ③わからないところはスルーしないで質問すること。
評価方法	筆記試験 : 100%
受講生への メッセージ	前期に引き続き、しっかりポイントを押さえて効率的に学習しましょう。 本試験では200問の問題を90分で解きます。過去問を何回も解いて、試験に対する耐性をつけましょう。(やればやっただけ結果が出せません!)
【使用教科書・教材・参考書】	
<p>【使用教科書】ホテルビジネス基礎編/一般財団法人日本ホテル教育センター          【使用教材】ホテルビジネス練習過去問題集700選/一般財団法人日本ホテル教育センター</p>	

科目名 (英)	英語 I English Language	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	ODEGBARO TUNDE / MONESTESDAVID
学科・コース	エアライングランドスタッフ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 教科書を使いながら文法と語彙を学び、そしてその知識を生かせる様々なアクティビティで実践を優先するコースです。ロールプレイやゲームなどをやりながら基本の基本を習得しましょう。</p> <p>※実務経験: ※実務経験: 2021年～オンラインで外国語の教師を務める。また九州日仏学館で約1年勤務したのちに、2023年から当校で講師を務める。</p>							
<p>【到達目標】 皆さんが日常のトピックについて自信を持って話せるようになることを目的としています。</p>							

授業計画・内容	
1回目	Learnings objectives: Say where you're from/ Ask for and give personal information. (教科書1.1 and 1.2)
2回目	Learnings objectives: Check into a hotel / Write a profile / Meet new people. (教科書1.3, 1.4 and 1.5)
3回目	Learnings objectives: Talk about your family / Describe friends and family. (教科書2.1 and 2.2)
4回目	Learnings objectives: Talk aboutages and birthdays/ Write a post about friends in a photo / Compare information about friends and family. (教科書2.1, 2.2 and 2.3)
5回目	Learnings objectives: Talk about your home /Talk about furniture. (教科書3.1 and 3.2)
6回目	Learnings objectives: Offer and accept a drink and snack /Write an email about home-share / choose things for a home (教科書3.3, 3.4 and 3.5)
7回目	Review of units 1-3
8回目	Learnings objectives: Talk about your favorite things / Say how you use technology. (教科書4.1 and 4.2)
9回目	Learnings objectives: Talk about how you communicate / Write product reviews / Talk about your favorite music. (教科書4.3, 4.4 and 4.5)
10回目	Learnings objectives: Talk about weekday and weekend activities / Tell the time and talk about your routines. (教科書5.1 and 5.2)
11回目	Learnings objectives: Show you agree and have things in common / Write a report about your activities / Compare different work weeks. (5.3, 5.4 and 5.5)
12回目	Learnings objectives: Talk about places in the city / Talk about nature in your area. (教科書6.1 and 6.2)
13回目	復習
14回目	試験
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	筆記試験 100%
受講生への メッセージ	完璧さを目指してはいけません。間違いながら話すことは目的にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
Evolve 1	

科目名 (英)	英語 I English Language	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	ODEGBARO TUNDE / MONESTESDAVID
学科・コース	エアライングランドスタッフ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 英語でのコミュニケーション、業界に必要な英語力を身につけます							
【実務経験】 専門学校にて英語講師として10年勤務							
【到達目標】 基本的な英語コミュニケーションができる 業界に必要な英語の語彙力アップ							

授業計画・内容	
1回目	現在、過去、そして将来の行動を説明できる
2回目	友情、誕生日、プレゼントなどについて話すことができる
3回目	食べ物を買うことについて話せる
4回目	食べ物の好みを説明できる
5回目	レッスン1-4の復習
6回目	レストランで食べ物を注文できる
7回目	料理のレシピについて話すことができる
8回目	未来や確率について話せる
9回目	可能性について話したり、警告したりできる
10回目	レッスン6-9の復習
11回目	デパートで買い物ができる
12回目	道を探ねて、街中を移動したり、公共交通機関を利用したりできる
13回目	テストのための復習
14回目	テスト
15回目	テスト解説
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください
評価方法	最終テスト75%、授業内での発表数25%
受講生への メッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。
【使用教科書・教材・参考書】 授業内筆記(この授業専用のノートを用意してください。) ※注) 他の授業のノートと一緒にしないようにしてください。	

科目名 (英)	英検対策 Eiken measures	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	はなだ 東砂 / 坂田 未央
学科・コース	エアーライン不ラウンドスタッフ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  生徒の実用英語検定合格に向けて15レッスンにわたり講義を行う。リーディング・ライティング・面接試験対策を行い、生徒の実用英語検定試験の合格に向けて、総合的な英語力の向上に務める。実用的なビジネス英語の基本を学ぶ。</p> <p>※実務経験:英語講師歴20年以上。英語翻訳実務経験5年以上。実用英語検定試験面接試験官歴23年。Professional Practices for English Language Teaching (英語教育のための専門的プラクティス) / British Council (ブリテッシュ・カウンシル)受講終了などの経歴及び資格を有する。</p>							
<p>【到達目標】  基礎英語を学ぶ。英検に合格できる。実用的なビジネス英語の基本を学ぶ。</p>							

授業計画・内容	
1回目	英文法基礎プリント/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、単熟語テスト/英検練習問題
2回目	英文法基礎プリント/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、単熟語テスト/英検練習問題
3回目	英文法基礎プリント/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、単熟語テスト/英検練習問題
4回目	英文法基礎プリント/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、単熟語テスト/英検練習問題
5回目	英文法基礎プリント/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、単熟語テスト/英検練習問題
6回目	英文法基礎プリント/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、単熟語テスト/英検練習問題
7回目	中間テスト/レッスン1～レッスン6までの課題・単語テスト・プリント提出
8回目	英文法基礎プリント/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、単熟語テスト/英検練習問題
9回目	英文法基礎プリント/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、単熟語テスト/英検練習問題
10回目	英文法基礎プリント/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、単熟語テスト/英検練習問題
11回目	英文法基礎プリント/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、単熟語テスト/英検練習問題
12回目	英文法基礎プリント/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、単熟語テスト/英検練習問題
13回目	英文法基礎プリント/英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本より、単熟語テスト/英検練習問題
14回目	期末テスト/レッスン1～レッスン13までの課題・単語テスト・プリント提出
15回目	企画レッスン
準備学習 時間外学習	休暇時に課題提出あり
評価方法	授業態度10%、出席率10%、単熟語テスト20%、中間テスト20%、期末テスト20%、課題提出20%を総して採点
受講生への メッセージ	基礎英語の総復習から英検合格を目指して、丁寧に学習しましょう。
<p>英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本 / 英検5・4・3級合格単語スピードマスター1250 / 10日で出来る中学英語3年年分丸ごと総復習 / 英検100%合格にこだわった本 各級3級 準2級、2級 / 英検過去3回問題集(最新のもの)3級 準2級、2級 / 英検過去6回問題集(最新のもの)準1級等</p>	

科目名 (英)	英会話 English conversation	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	はなだ 東砂
学科・コース	エアライングランドスタッフ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 生徒の実用英語検定合格に向けて15レッスンにわたり講義を行う。リーディング・ライティング・面接試験対策を行い、生徒の実用英語検定試験の合格に向けて、総合的な英語力の向上に務める。実用的なビジネス英語の基本を学ぶ。</p> <p>※実務経験:英語講師歴20年以上。英語翻訳業実務経験5年以上。実用英語検定試験面接試験官歴23年。Professional Practices for English Language Teaching (英語教育のための専門的プラクティス) / British Council (ブリテッシュ・カウンシル)受講終了などの経歴及び資格を有する。</p>							
<p>【到達目標】 基礎英語を学ぶ。英検に合格できる。実用的なビジネス英語の基本を学ぶ。</p>							

授業計画・内容	
1回目	Speak now 復習/ 英文法プリント復習/英単語プリント復習/接客英語フレーズ復習
2回目	Speak now 復習/ 英文法プリント復習/英単語プリント復習/接客英語フレーズ復習
3回目	Speak now 復習/ 英文法プリント学習復習/英単語プリント学習復習/接客英語フレーズ復習
4回目	Speak now 13, 14, 15/ 英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
5回目	Speak now 16,17,18/ 英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
6回目	Speak now 19, 20, 21/ 英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
7回目	中間テスト
8回目	Speak now 22, 23, 24/ 英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
9回目	Speak now 25, 26, 27/ 英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
10回目	Speak now 28, 29, 30/ 英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
11回目	Speak now 31, 32/ 英文法プリント学習/英単語プリント学習/接客英語フレーズ
12回目	Speak now 総復習/英語ビジネスレター練習/接客英語フレーズ総復習
13回目	Speak now 復習/英語ビジネスレター練習/接客英語フレーズ復習
14回目	期末テスト
15回目	企画クラス
準備学習 時間外学習	休暇時に課題提出あり
評価方法	授業態度10%、出席率10%、英文法20%、英単語20%、接客英語フレーズ20%、課題提出20%を総して採点
受講生への メッセージ	英語の基礎を学びなおしながら、接客英語など、実戦的に使える英語力を身につけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
Speak now/英文法プリント/英単語教材等	

科目名 (英)	マナープロトコル(3級) Manner Protocol (3rd level)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	加藤 亜紀
学科・コース	エアーライングランドスタッフ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>NPO法人日本マナー・プロトコル協会認定講師。多くの大学、専門学校等で非常勤講師として講義を行っている講師が、長年の指導経験を活かし分かりやすく、興味を持ってもらえるように講義を行います。講義では、座学だけではなく、好感度の高い挨拶、和室の所作、名刺交換の練習等々、実技も取り入れ、知識だけでなく身につけることを重視します。</p> <p>また、食事のマナーではDVDの視聴、礼装・冠婚葬祭はスライドを取り入れるなど、イメージしやすい工夫を凝らした講義内容にしています。</p> <p>「予習シート」で予習を行い授業に臨むため授業を理解しやすい状態で学習に取り組むことができます。各章が終われば「確認テスト」、問題集、模擬試験等で学習成果を確認し、理解不足の部分は再度復習を行い授業の中で受験対策もしっかりと行っていきます。学習の成果として最終的に「文部科学省後援マナー・プロトコル検定3級」の合格を目指します。</p> <p>【到達目標】</p> <p>「マナー・プロトコル検定3級」合格を目指します。資格を取得することで就職活動においても自己PRで差をつけることができます。マナーの歴史、冠婚葬祭、食事のマナー等を学ぶことで日々の生活が豊かになり、自信を持って社会人として新たなスタートを切ることができます。</p>							

授業計画・内容	
1回目	和食のマナー: DVD視聴で和食のいただき方を学ぶことができる。美しい箸使い、忌み箸について学ぶことで日常生活でも箸使いを意識できるようになる。お椀とお箸を実際に使い実践練習することで、正しい箸使いを理解することができる。
2回目	和室での作法: 和室にて座礼、襖の開け閉め、座布団の扱い、和室での贈答品の渡し方、いただき方等を学ぶことで和室での作法を実践できるようになる。和食のマナー、和室の作法の問題を解き理解を深め、問題に慣れることができる。
3回目	洋食のマナー: DVD視聴で洋食のいただき方を学ぶことができる。自信を持って西洋料理のレストランで食事に臨めるようになる。実際のカタラーリ、ナプキン等を使い指導することで、正しい使い方を理解することができる。中国料理、各国料理のマナーについても知識を広げることができる。
4回目	第5章までの模擬問題④を解く。自分が苦手な部分を確認し、復習を行う。見直しを行うことで、理解を深めることができる。
5回目	「冠」のしきたり: スライドを使って人生の節目となる通過儀礼の成立、意味、種類を学ぶことで社会人としての知識を身に付けることができる。第7章確認テスト解き、理解を深める。
6回目	「婚」のしきたり: スライドを使って婚姻の形態、しきたりを学び、結婚式での服装、会場でのマナー等、近い将来に社会人として必要になる知識を身に付けることができる。第8章確認テストを解き理解を深める。
7回目	復習: ここまでの内容について問題集の問題を解き、振り返りの学習を行うことで理解不足の部分を確認することができる。問題を解く力をつけて、中間テストに臨むことができる。
8回目	中間テスト、解説、振り返り
9回目	「葬」のしきたり: スライドを使って葬儀の変遷、葬送儀礼のしきたりを学ぶことで葬儀や法要の知識を身に付けることができる。第9章確認テストを解き、理解を深める。
10回目	「祭」のしきたり: スライドを使って日本の年中行事の種類、習わし、しきたりを学ぶことで正月から大晦日までの様々な行事について知識を身に付けることができる。第10章確認テストを解き、理解を深める。
11回目	試験対策①: 3級模擬問題①を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することができるようになる。
12回目	試験対策②: 3級模擬問題②を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することができるようになる。
13回目	試験対策③: 3級模擬問題③を時間を計り解き、問題に慣れることで試験問題に対応することができるようになる。
14回目	期末試験
15回目	期末試験振り返り・検定試験に向けて問題の再確認
準備学習 時間外学習	予習シートで予習して、授業に臨む。進んだところまで、問題集を使用し、復習する。復習ワークシートを行う。
評価方法	①中間テスト、期末テストの点数 80% ②授業態度・提出物を期日までにきちんと提出する 20%
受講生への メッセージ	前半はよく頑張りました。後期は、食事のマナー、冠婚葬祭を学びます。そして、模擬試験を4回行い、本試験の形式に慣れて行くように指導します。皆さんの頑張ったことを資格という形にしましょう。目指すホテル業、観光業、サービス業界等で幅広くビジネスの第一線で活かすことができる資格です。文部科学省後援マナー・プロトコル検定3級合格できるよう後半も一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
「マナー&プロトコルの基礎知識」、「マナー・プロトコル検定2級・3級問題集」NPO法人日本マナー・プロトコル協会発行	

科目名 (英)	ホテル概論 Introduction to the Study Hotel	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	佐藤 俊子
学科・コース	エアライングランドスタッフ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          海外のホテルをマネージメントする企業でマーケティングやマネージメントを担当した教員がホテルのことをより深く知るために指導す          前期に学んだ各ホテルの特徴をより深くポイントに従って閑雅してみる。</p> <p>※実務経験：(株)東急ホテルズインターナショナルにてマーケティング部に所属し、海外ホテルのプロモーションに従事。その後、ヒルトン福岡シーホークと西鉄ホテルズにてスタッフにホスピタリティー英語指導を10年以上経験。全国通訳案内士として英語でのインバウンド対応。国交省認定1級講師として観光関係者を指導。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>ターゲット別のホテルの戦略を立てることができる          プランを作り、どのように進めたらいいかを理解することができる          海外のホテルを知ることができる          販売促進について集客を上げるためのプランを考えることができる</p>							

授業計画・内容	
1回目	前期の復習
2回目	最近の味の動向、新しく開業するホテルの特徴、環境に関する考え方を学ぶ
3回目	インバウンドについて知る。(インバウンドの動き、好み、を知る)
4回目	スモールラグジュアリーのホテルがなぜ最近多く開業しているのかを知る。
5回目	女性の人気のプランを考えることができる
6回目	6ポケット1キッドの子供向けプランを考えることができる。
7回目	高齢者を対象にしたプランを考えることができる
8回目	おひとり様を対象にしたプランを考えることができる
9回目	ネットで変わる予約の方法を知ることができる
10回目	アメリカのラスベガスのホテルを知ることができる
11回目	ハワイのホテルを知ることができる。なぜハワイが人気なのかを考えることができる
12回目	バリ島のホテルを知ることができる。
13回目	シンガポールや香港など、ここを本拠地にするペニンシュラなどのホテルを知ることができる
14回目	テスト
15回目	フィードバック
準備学習 時間外学習	
評価方法	平常点(コメント提出や発表)20% 期末テスト80%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	就職講座Ⅱ / エアライン就職講座 Work Seminar Ⅱ / Work Seminar	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	川崎 侑季
学科・コース	エアライングランドスタッフ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 1・2年生合同でエアラインの仕事、求められていることについて学習します。</p> <p>※実務経験: グランドスタッフとして福岡空港国際線で勤務ののち、エアライン専門学校で3年間勤務。約1,000人の授業、就職支援、教務責任者を担当。</p> <p>【到達目標】 楽しみながらAL業界について理解する。 人前でためらいなく話せるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、他己紹介、第一印象、テーマトーク
2回目	立居振舞(立ち方、座り方、歩き方、お出迎え) ※ヒール7センチ以上の靴を持参してください。
3回目	話し方、聞き方、伝え方(正しい日本語を使おう)
4回目	職業理解(GS)
5回目	職業理解(CA)→GSとの違いを中心にお知らせします。
6回目	自己分析(自分年表の作成)→自己PRポイントを見つけよう
7回目	企業研究 ※PC利用
8回目	企業研究プレゼン大会 ～先生方にもプレゼンを聴講してもらおう～ ※PC利用
9回目	アナウンス(空港内アナウンスをやってみよう)
10回目	ハンディキャップがあるお客様に対する対応体験 ※マスク持参
11回目	緊急事態に自分とお客様の命を守るには
12回目	モックアップ(機内サービスをやってみよう! FSC、LCCの違いは?)
13回目	私服についてのプレゼン(戦略的に見られる意識をもつ) ～面接に慣れる～ ※私服
14回目	期末試験(面接形式で行います)
15回目	試験振り返り、半年間の総括
準備学習 時間外学習	「話してみる」「やってみる」ことを念頭に授業を設定しています。 テーマに沿った準備を行いましょ。
評価方法	授業態度 70% 身だしなみ・立居振舞 30%
受講生への メッセージ	CA、GSってどんな仕事なのか?何を求められているのか?ということイメージではなく体験を通して知っていきましょう。 楽しく受講してください。
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名 (英)	航空知識 I Study of Airlines Industry I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	平島 可奈子
学科・コース	エアライングラウンドスタッフ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 地上勤務含むサービス業に必要な知識を、実践を交えながら実施します。業界の基礎知識を理解できるようにします</p> <p>※実務経験：日本航空のグラウンドスタッフとして国内線・国際線業務を担当した後、アマデウス認定インストラクターの資格取得。</p>							
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業界について楽しく学ぶ意識ができるようになる</li> <li>・社会に出るに当たって不安を減少することができる</li> <li>・自分を知ることができる</li> <li>・自分のPRポイント、ウィークポイントを日々意識して生活できるようになる</li> <li>・視野や考え方を広げられるようになる</li> </ul>							

授業計画・内容	
1回目	空港見学のレポートを作成し、企業様へ提出できる
2回目	3レターについて知り、定着できるようにする
3回目	2024年空港ランキングを通して、世界の空港を知ることができる
4回目	航空業界で使用する専門用語・略語を理解し活用できるようになる①(復習)
5回目	航空業界で使用する専門用語・略語を理解し活用できるようになる②(動画視聴含む)
6回目	FFPIについて理解し、説明できるようになる
7回目	中間テスト
8回目	IRRG、SPCL PAXについて理解し、説明できるようになる
9回目	WCHR PAXのケアができるようになる
10回目	BLND PAX、DEAF PAXのケアができるようになる
11回目	危険物について理解できるようになる
12回目	CIQ見学に向けて、理解し、説明できるようになる
13回目	CIQ見学
14回目	CIQ見学
15回目	期末テスト
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間テスト50%(筆記試験)、期末テスト50%(筆記試験)
受講生への メッセージ	お手伝いを必要とする方のケア方法を学び、そのような場面に出くわした際にも自信をもってお声かけられるような人になりましょう！企業様の訪問を通して、自分の近い未来のこととしてイメージをどんどん膨らませましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	写真・SNS Photo technique & SNS	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	児玉 のりこ
学科・コース	エアライングランドスタッフ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 身近で使用されているSNSを中心に運用方法や効果的な活用について学びます。</p> <p>※実務経験: TV・イベント制作会社、広告代理店勤務、企業SNS配信担当の経験から、実践的に活用できる、写真・SNS基礎知識とweb色彩やデザインの基礎をふまえて画像制作まで行う。同時に、企業側から消費者へマーケティング目線で有効的な写真&amp;画像制作のポイントも取り入れて学びます。</p> <p>【到達目標】</p> <p>&lt;具体的な目標&gt; SNS上での写真の活用方法、ブランディング、効果的な投稿テクニックを理解します。 実際に写真を取り画像加工ができるようになる。 消費者目線を意識した、SNS種類と配信の知識を学び目的別に活用できるようになる。 最終的には、自分の作品をSNSで効果的に発信できるようになることを目指します</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、講師紹介、他己紹介、SNSについて・バスの投稿は??ワーク
2回目	SNSアプリ種類など学ぶ/活用してできることはどんな仕事&どんな事?ワーク
3回目	写真の基本撮り方、見栄えする写真撮影方法について→次回授業までに写真を撮影しておく
4回目	画像加工について学ぶ/文字入れ・フォントの種類/チーム別ワーク発表
5回目	画像加工について学ぶ/効果的な色使い、配色について/チーム別ワーク発表
6回目	SNS種類、各SNS特徴と使用する時のポイントについて学ぶ/誰に向けての配信(ターゲット)とSNS配信を考えるワーク
7回目	CANVAの紹介・使い方レクチャー→次回授業までに写真を複数枚撮影しておく
8回目	①画像アップロード方法レクチャー/CANVA使用して「Instagram」の画像作成実践作業
9回目	②「Instagram」ビジネスページの説明、画像保存機能・画像の種類について/前回の続き「Instagram」画像作成実践作業
10回目	SNS効果的な投稿について、「Instagram」ハッシュタグ選定方法を学ぶ/該当する業界の投稿を閲覧して必要なタグをピックアップするワーク
11回目	読まれるSNS文章の書き方、投稿時のポイントを学ぶ/「Instagram」投稿を想定して消費者に向けて作品PR文章の実践
12回目	SNSヘッダー効果について/CANVA使用して「X」ヘッダー画像作成実践作業
13回目	「Instagram:ストーリーズ」について、CANVA動画・アニメーション機能を学ぶ/CANVA使用して「ストーリーズ」画像作成実践作業
14回目	評価:お題に基づきCANVAで画像作成
15回目	テスト振り返り、ITリテラシーについて学ぶ
準備学習 時間外学習	日頃見慣れているSNSも、写真の使い方、文章内容、色合い、文字の大きさ等どんな工夫がされているか チェックするようにしてみてください! 今までの見方と変わってきっと新たな発見があります。 いいな!と思った投稿画像を授業の制作作業時に取り入れてみてください。
評価方法	テスト評価70% 授業態度10% 提出物20%
受講生への メッセージ	今や誰もが簡単にSNSを利用できますが、個人と企業(会社)での活用方法は全く異なります。 みなさんには、今後SNSを活用していく企業(会社)側の視点も持つよう 有効的な発信をして行くための基礎知識を一緒に身に付けて行きましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
※タブレットを毎時間持参してください。	

科目名 (英)	マーケティング I  Marketing I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	常井 大輝
学科・コース	エアラインブランドスタッフ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>マーケティングの基礎を学び、理解してもらいます。4Pなどの基本原則をベースにビジネスを考え構築する力を身につけ、事業計画を仮で制作し15回目の授業で発表もしくは提出してもらいます。エクセルに触れてもらい計画書を作成します。経営観点を学び、経営者は何を考え、投資家や投資家への説明とはなんなのかを理解する。ビジネスの成り立ちを理解し、日々のサービスをする人たちの活躍がどのように会社に寄与しているかを理解する。</p> <p>※実務経験: 米国セントラルフロリダ大学ホスピタリティマネジメント学部を卒業し、日本へ帰国後東京の不動産・ホテル運営会社へ入社。外資系シティホテルへ出向し約2年半勤務。OTAのセールス、マーケティングを担当。同時に兼務として新規大型ラグジュアリーホテルのレベニューマネージャーを担当し、開業準備に携わる。2023年に独立し、株式会社 Hospitality Bridgeを創業。観光業をメインとしたコンサルティング会社として、集客向上、経営コンサルティング、オペレーションコンサルティング、DMOなどの自治体むけセミナーなどを行う。</p> <p>【到達目標】</p> <p>マーケティングの基本原則を理解してもらおう。エクセルやパワーポイントを使って仮の事業計画を立てて、マーケティングをどのように進めるか考えられるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、クラスの進め方、最終課題の説明、マーケティングとは。基本原則(4Pと4I、3C)について、ロジカルシンキングとは。
2回目	クラスのグループを作成。テーマの提示と賛同者を募る。
3回目	Productに関して考える。事業計画ステップ1。場所、商品、サービスの構築
4回目	選んだマーケットの調査を行う。市場の動向、事業性、成長の可能性など
5回目	Placeに関して考える。事業計画ステップ2。販路拡大。どこで売るかを考える。
6回目	Priceに関して考える。事業計画ステップ3。料金を戦略的に考える。
7回目	事業計画を立てる1。財務諸表のうち、損益決算書(PL表)とキャッシュフロー計算書を知る。
8回目	コスト(支出)を把握する。固定費と変動費
9回目	事業計画書を作ってみる。投資回収率(ROI)とは。
10回目	事業継続性、差別化について考える。SWAT分析、3C分析
11回目	競合調査を行う。自分の事業(仮)の競合を決めて、戦略に落とし込み確認する。
12回目	Promotionに関して考える。事業計画ステップ4。プロモーション施策をどのように行うか考える。
13回目	売れる仕組みを作る。自分の計画は売れる?売れない?
14回目	プレゼンテーション準備
15回目	事業計画プレゼンテーション
準備学習 時間外学習	最終の事業計画プレゼンテーションに向けて調査とまとめを行ってください。実際に企業にヒアリングしたい場合は、講師と学校側に確認をしてください。
評価方法	事業計画の最終プレゼンテーションは授業内容をカバーしているか。(60%) 論理的に構築されているか。(20%) 期末テスト(20%)
受講生への メッセージ	マーケティングは奥が深い領域です。その中でも、ビジネスのベースとなる”事業計画”を自ら考えられるようになり、数字でビジネスを考えられるようになってください。将来自分が仕事をする時、会社の”予算”というものがあります。その内容がなんとなくわかると、自分が働いている意味、会社への貢献をありがとうの言葉だけでなく、感じるすることができます。評価も上がり、出世や色々なキャリアの道が広がります。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	レストランサービス技能検定 Restaurant service skill test	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	麻生 亮
学科・コース	エアライングランドスタッフ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 授業を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。</p> <p>※:実務経験 レストランひらまつ:レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡:レストランサービス20年勤務</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>レストランサービスを基礎から体系的に学ぶ事で学習を実際の現場での反映できる考え方を学ぶ。管理・運営者を目指すうえで、マネジャー視点に基づいて、どのような能力が必要かを理解し、3年時の高度なマネジメントスキルを身に付けるための基礎知識を身に付けます。</p>							

授業計画・内容	
1回目	6つの基礎食品を把握しその分類別特徴を説明出来るようになる
2回目	食品加工・貯蔵の目的を把握し方法・管理の大切さを説明出来るようになる
3回目	西洋料理に使用される主な食材(前菜・スープ・魚・甲類・貝類)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
4回目	西洋料理に使用される主な食材(家畜・家禽・野菜)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
5回目	西洋料理に使用される主な食材(パスタ・チーズ・デザート)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
6回目	課題の抽出・中間試験対策
7回目	中間試験(筆記)
8回目	一般的な西洋料理調理方法(魚の仕込み表現・肉の切り方と焼き加減・8つの基本的調理方法)のフランス語が読めて特徴を説明出来るようになる
9回目	コーヒー豆の種類と特徴・紅茶の分類と等級・ミネラルウォーターの分類の説明出来るようになる
10回目	メニューの歴史・諸規則・構成を学び説明出来るようになる
11回目	西洋料理の食器用具・備品(銀食器・陶磁器・ガラス容器・食器の種類と名称)を学び説明出来るようになる
12回目	課題の抽出・試験対策
13回目	試験対策
14回目	★評価週
15回目	期末試験やこの授業を振り返り学んだ事を活用出来るように纏める事が出来る。
準備学習 時間外学習	他科目とのリンク
評価方法	筆記試験 100%
受講生への メッセージ	まだ見ぬ世界へ
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>西洋料理 料飲接客サービス技法</p>	